

富岡市長賞 銅賞

私たちの生活を支える税

南中学校 3年 小林 玲子

最近、消費税を上げるというニュースがテレビや新聞で度々話題になっている。消費税は私にとって一番身近な税であり、それが増えると聞いて、私も少し税に興味をもった。そこで税についていろいろ調べてみることにした。

そもそも集められた税金は何に使われているのだろうか。調べてみると、医療・福祉・年金・介護・教育などさまざまな面で使われているということがわかった。学校も税金で建てられ、私達が学校で使っている机や椅子も税金によって寄付されている。図書館の本も税金で買われ、道路などの整備も税金を使って行われている。また、私が少し前まで3回にわたって受けていた予防注射も市が税金で全額を負担して私達に受けさせてくれていたものだと言われた。

このように私達のまわりには税金のおかげで成り立っているもの、税金があるからできることがたくさんある。私は税金がこんなにも身近なところで使われていると知りとても驚いた。私達の生活は税金によって支えられているのだと実感した。

さて、なぜ増税されるのかというのは簡単に国の財源が不足しているからだ。調べてみると、今国は約668兆円もの借金をしていることがわかった。さらに今後少子高齢化が進むと年金や福祉のためのお金が大幅に足りなくなってしまうという。税が上がり物価が高くなるのはいやな気もするけれど、そこで払った税金は必ず私達国民のために使われ、よりよい暮らしをつくってくれる。もしお金が足りなくなってしまうと、社会保障の質が悪くなったりして私達の生活に悪影響を与えることになってしまうのではないだろうか。まだ納税者でない私が言うことではないかもしれないが、私は増税をして皆で少しずつ納める税金を増やした方が日本のため、そして私達のためになると思う。

税金は私達国民の安全で豊かな暮らしのためになくてはならないものだ。今は税を納めてくれている大人に感謝し、税金によってできている公共物をなるべく大切に使い、いきたいと思います。そして将来は、しっかり仕事をしてきちんと税金を納め、社会に貢献できる大人になりたい。